

(別紙1)

「きのくに県民カレッジ」に係る講座登録書の入力（記入）記入について

広く県民を対象とした事業・講座・教室等について、以下の注意事項及び講座登録入力例を参考にご入力ください。

なお、対象となる事業・講座・教室等については、別紙2（きのくに県民カレッジ対象講座について）をご参照ください。

※講座実施機関におかれましては、受講者への「受講手帳」「単位認定シール」の配付、受講者から提出される「入学申込書」「認定証授与申請書」の事務局（県立図書館）への送付等をしていただきます。

(1) 番号

集計用の番号です。入力の必要はありません。

(2) 分類

別紙3（講座の分野一覧）を参照して10～90の番号で入力。

(3) 区分

1＝一般的な講座等

2＝専門的な講座等

(4) 講座の名称

講座の名称を入力。

(5) 回数

講座の実施回数を数字で入力。

(6) 講座の内容

講座の内容をできるだけ簡潔に入力。

(7) 参加対象

一般、高齢者、女性、男性、小・中学生、親子等を入力。

(8) 定員

募集定員を数字で入力。

(9) 開催期間・時間

開催日時等を入力。

(10) 会場

講座等の開催場所を入力。

(11) 申込み・問い合わせ先

申込み・問い合わせ先を入力。

＊休業・休館日が平日の場合は曜日を入力。

(12) TEL・FAX

申込み・問い合わせ先の電話番号等を入力。

(13) 募集期間

講座の募集期間を入力。

(14) 受講料

無料または有料の場合はその費用を入力。

(15) 単位数

1回あたりの単位数を入力。原則として1時間を1単位とする。ただし、実技、実習、野外実習、見学等は2～3時間を1単位とする。（別紙4〈単位の設定について〉参照）

(別紙2)

「きのくに県民カレッジ」の対象講座について

下記の観点に立って、県、市町村、高等教育機関、生涯学習関連団体等が、広く県民を対象として開催する(1)～(5)の事業・講座・教室等とする。

- 大学との連携による高度で専門的な学習
- 地域社会の課題解決に向けた学習
- こころ豊かな人生を送るための生きがいづくり
- 未来を拓く^{ひら}青少年の育成

- (1) 県(関係機関を含む。)が主催する広域的な事業・講座
- (2) 市町村(関係機関を含む。)が主催し、他市町村の住民も参加できる講座(スポーツ等を含む。)
- (3) 大学・短大、高等専門学校、県立学校が主催する公開講座
- (4) 生涯学習関連団体が主催し、県民一般も参加できる講座
- (5) その他学長が認めるもの

対象外の講座

- (1) 学校教育法に基づく幼児・児童・生徒・学生に対する教育
- (2) 公民館のサークル活動や団体の活動で指導員の指導が伴わないもの及び会員のみを対象としているもの
- (3) 学芸員や指導員等の指導が伴わない鑑賞会、展示会、展覧会、見学会、教室等
- (4) 夏祭り、花火大会等学習内容や目的が明確でないもの
- (5) 奉仕活動やボランティア活動に該当するもの
(ボランティア養成講座、コーディネーターセミナー等のボランティアに関する講座は対象とする。)
- (6) 県や市町村職員等のみを対象とした職務上の研修会

(別紙3)

「きのくに県民カレッジ」講座の分野一覧

①ふるさと学(10)

わかやまの文化、歴史、自然などについての学習

<講座例>

- ・わかやまの歴史、民俗
- ・わかやまの自然
- ・わかやまの産業
- ・わかやまの文化、人物

②家庭・地域(20)

家庭生活、福祉、地域社会の活性化についての学習

<講座例>

- ・子育てセミナー
- ・家庭教育学校
- ・料理学校
- ・地域づくり教室
- ・ボランティア講座
- ・手話教室

③社会・経済(30)

政治、経済、産業、歴史、社会などについての学習

<講座例>

- ・日本の政治
- ・農業問題
- ・税金教室
- ・経済の動向

④自然・科学(40)

自然や科学などについての学習

<講座例>

- ・星に親しむ
- ・自然教室
- ・酸性雨と現代社会
- ・虫の世界を知る

⑤技術・技能(50)

職業能力の開発や資格取得など技能の向上を目指すための学習

<講座例>

- ・会計、事務処理
- ・パソコン、ワープロ
- ・情報処理
- ・商業簿記

⑥芸術・文化(60)

芸術や文化など、豊かな生活の創造を目指すための学習

<講座例>

- ・絵画、書道
- ・詩吟、俳句、短歌
- ・器楽演奏
- ・陶芸
- ・文化講演会

⑦健康・スポーツ(70)

健康の増進、体力の増強など、健康に関する学習

<講座例>

- ・エアロビクス
- ・健康ゼミナール
- ・スポーツ教室
- ・体育指導者研修会
- ・ホームヘルパー教室

⑧国際理解・語学(80)

様々な語学学習や国際理解を深めるための学習

<講座例>

- ・語学(外語語)の習得
- ・外国人との交流
- ・国際情勢を学ぶ
- ・外国文化を学ぶ

⑨その他(90)

上記①～⑧に該当しない学習又は複数分野にわたる学習

(別紙4)

単位の設定について

きのくに県民カレッジ運営要領から

7 単位の設定及び認定

単位の設定及び認定は、次のとおりとする。

(1) 単位の設定

ア 講座ごとに実施機関が単位数を設定する。

イ 原則として1時間を1単位とする。ただし、実技、実習、野外実習、見学等は、2～3時間をもって1単位とする。

以下を参考に単位の設定をしてください。

(1) 講座、講演、ワークショップ等

45分 ～ 60分 = 1単位

61分 ～ 120分 = 2単位

121分 ～ 180分 = 3単位

181分 ～ 240分 = 4単位

241分 ～ 300分 = 5単位・・・

(2) 実技、実習、野外実習等

90分 ～ 180分 = 1単位

181分 ～ 360分 = 2単位

361分 ～ 540分 = 3単位・・・

(3) 学芸員等の指導が伴う鑑賞会、展示会、展覧会、見学会等

1回 = 1単位

(4) マラソン大会等

1回 = 1単位